

中学校 音楽

解答についての注意点

- 1 解答用紙は、記述式解答用紙とマーク式解答用紙の2種類があります。
- 2 大問 **1** ~ 大問 **2** については、記述式解答用紙に、大問 **3** ~ 大問 **4** については、マーク式解答用紙に記入してください。
- 3 解答用紙が配付されたら、まずマーク式解答用紙に受験番号等を記入し、受験番号に対応する数字を、鉛筆で黒くぬりつぶしてください。
記述式解答用紙は、全ての用紙の上部に受験番号のみを記入してください。
- 4 大問 **3** ~ 大問 **4** の解答は、選択肢のうちから、**問題で指示された解答番号**の欄にある数字のうち一つを黒くぬりつぶしてください。
例えば、「解答番号は 」と表示のある問題に対して、「**3**」と解答する場合は、解答番号 の欄に並んでいる ① ② ③ ④ ⑤ の中の ③ を黒くぬりつぶしてください。
- 5 間違ってぬりつぶしたときは、消しゴムできれいに消してください。二つ以上ぬりつぶされている場合は、その解答は無効となります。
- 6 その他、係員が注意したことをよく守ってください。

指示があるまで中をあけてはいけません。

I これから放送されるア～キの音楽や楽器の音を聴いて、次の(1)～(3)の問いに答えよ。

(1) ア～オの楽曲名と作曲者名を記せ。なお、解答用紙の「」に、必要な事項を記入すること。

(2) ①カの曲名を記せ。

②カで使用されている楽器の楽器名を五つ記せ。

(3) キの弦楽器に関連のある国または地域を下の語群A～Fから一つ選び、解答用紙に記号で記せ。また、この楽器名を記せ。

(語群)	A インド	B アメリカ合衆国	C ペルー
	D オセアニア	E ヨーロッパ	F ギニア

3 次の(1)～(15)の問いに答えよ。

(1) 坂本龍一に関する説明文の空欄に当てはまる語句の組み合わせについて、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

1978年に細野晴臣、高橋幸宏と共に「YMO ()」を結成した。またソロとしても活動し、 などの映画音楽の制作も行っていたが、2023年3月に病気のため死去した。

- 1 ア イエロー・マジック・オーケストラ
イ 「戦場のピアニスト」や「ラスト・エンペラー」
- 2 ア イエロー・ミュージック・オーケストラ
イ 「戦場のピアニスト」や「ラスト・サムライ」
- 3 ア イエロー・マジック・オーケストラ
イ 「戦場のメリー・クリスマス」や「ラスト・サムライ」
- 4 ア イエロー・マジック・オーケストラ
イ 「戦場のメリー・クリスマス」や「ラスト・エンペラー」
- 5 ア イエロー・ミュージック・オーケストラ
イ 「戦場のメリー・クリスマス」や「ラスト・サムライ」

(2) 世界の特色ある音楽の説明の中で、正しいものの組み合わせについて、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 ジンジュ 農楽を基盤にして発展した新しい芸能。韓国の伝統的な打楽器チャンゴ、プク、ケンガリ、チンを用いる。
- 2 クイーカ もともとは、アフリカの神々にまつわるさまざまな歌を歌うときに演奏される太鼓で、メロディ楽器には使われず、踊りの伴奏で演奏されることが多い楽器。
- 3 メリスマ 歌詞の一音節を装飾的に細かく上下に動かしながら引き伸ばして歌うこと。スペイン民謡で用いられる。
- 4 アールグール ダブル・リード管楽器の原点といえる楽器。アラビア語では、ムズマル、ズマル、ズマラなどと呼ばれる。
- 5 ツインバロム 薄く裂いた竹のスティックで弦を叩くツィター属の撥弦楽器。ピアノの元祖となる楽器で、古代ペルシアで生まれ、西洋から中国に伝わった。

(3) 次の作品について、下線部の「grazioso」の意味と同じ意味の用語で、適切なものを 1～5 から一つ選べ。解答番号は

著作権保護の観点により、本作品を掲載いたしません。

出典：全音ピアノピース No.12 春の歌「無言歌集」より(Op.62-6)

F.Mendelssohn

ZEN-ON MUSIC

1 ページ冒頭から 5 小節まで

1 dolce 2 energico 3 elegante 4 pastorale 5 con sentimento

(4) (3) の作曲家の作品のうち、適切でないものを 1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 ピアノ曲 「葬送行進曲」
- 2 オペラ 「ベアトリスとベネディクト」
- 3 管弦楽曲 序曲「フィンガルの洞窟」
- 4 交響曲 第3番「スコットランド」
- 5 歌曲 「歌の翼に」

(5) 次の用語説明のうち、適切でないものを 1～5 から一つ選べ。解答番号は

- 1 サウンド・ホール アコースティック・ギターや、セミ・アコースティック・ギターなどに空けられた、ボディの穴のこと。
- 2 サウンド・トラック 映画等の劇中に流すために制作された音楽のこと。
- 3 サウンド・システム 電子楽器に接続してサウンド・バリエーションを広げるために付加的に用いるディレイ、リバーブ、イコライザーなどの機器の総称のこと。
- 4 サウンド・チェック 音響システムを確認し、調整すること。また、ミキサーの調整の段階で楽器の音を個別に単体でもらい、各マイクおよびチャンネル別に調整すること。
- 5 サウンド・チャート シンセサイザー等で音色を作るときに、各部のセッティングをどのように設定するかを記録すること。またはその記録のメモランダムのこと。

(6) 次の映画作品とその作品の主題歌の組み合わせについて、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- | | |
|----------------|--------------|
| 1 『幌馬車』 | 「おお、スザンナ」 |
| 2 『オズの魔法使』 | 「虹の彼方に」 |
| 3 『スイング・ホテル』 | 「ホワイト・クリスマス」 |
| 4 『巴里のアメリカ人』 | 「ケ・セラ・セラ」 |
| 5 『ティファニーで朝食を』 | 「ムーン・リヴァー」 |

(7) 同じ作曲家の作品の組み合わせについて、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | | |
|-----------|-------------|
| 1 「赤とんぼ」 | 「ちんちん千鳥」 |
| 2 「花」 | 「船頭さん」 |
| 3 「夏の思い出」 | 「いたずらすずめ」 |
| 4 「浜辺の歌」 | 「砂山」 |
| 5 「早春賦」 | 「かわいいかくれんぼ」 |

(8) 次のオペラの種類の説明について、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | | |
|-------------|--|
| 1 オペラ・セリア | 主に18世紀のイタリア語のオペラ。カストラートとソプラノが主役になり、テーマは神話の神々や古代史の英雄の物語がある。 |
| 2 オペラ・コミック | 18世紀のフランスで誕生した。「コミック」は芝居を意味する言葉なので、悲劇のオペラ・コミックも存在する。 |
| 3 ジングシュピール | オペラ・コミックのドイツ語版の分野。18世紀の「魔笛」や19世紀の「魔弾の射手」などがある。 |
| 4 ヴェリズモ・オペラ | 19世紀のフランスで誕生した。マイヤーベアアの「悪魔のロベール」やサン＝サーンスの「サムソンとデリラ」などがある。 |
| 5 オペラ・ブッフア | 18世紀から20世紀初頭あたりまで、喜劇に特化したイタリア語のオペラ。基本的にカストラートは出演せず、ソプラノからバスまでさまざまな声が主役になる。 |

(9) ア、イをそれぞれ演奏したとき、合計した小節数として適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

ア

イ

bis

D.S.

- 1 51
- 2 52
- 3 54
- 4 56
- 5 57

(10) B. スメタナについて、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 主要作品「売られた花嫁」は人気を博し成功を収めていたにもかかわらず、作品がワーグナー風で民族主義的要素が少ないと批判された。
- 2 プラハに新設される国民劇場の、仮劇場の管弦楽団の楽団員となった。この頃作曲も行っており、作風は民族色を強めていった。
- 3 同時代の作曲家と比べて和声や形式に先進性は見られなかったが、際立った特徴は、ボヘミアを題材としつつも、決して民謡をそのまま流用することなく綴る叙情的な旋律である。
- 4 プラハ郊外で宿屋と肉屋を営んでいた家庭で生まれ、子どもの頃より楽才を表し、とりわけピアニストとして優れていた。
- 5 初期にはワーグナーの影響を受けていたが、やがてドイツ、オーストリアの古典音楽を取り込みながら祖国の民族音楽の語法を用い、独自の世界を確立していった。

(11) 次の作品と作者の組み合わせについて、適切でないものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

- | | |
|-------------|---------|
| 1 「高砂」 | 世阿弥 |
| 2 「元禄風花見踊」 | 三世杵屋正治郎 |
| 3 「弁天娘女男白浪」 | 河竹黙阿弥 |
| 4 「国性爺合戦」 | 近松門左衛門 |
| 5 「千鳥の曲」 | 八橋検校 |

(12) 発声の共鳴について、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 共鳴とは、音のエネルギー（空気の振動）を吸収したり、吐き出したりして外部に伝える現象のことである。
- 2 共鳴腔とは、声楽的には鼻腔、口腔、咽腔の空間部分をさす。
- 3 鼻腔は比較的知覚しやすく、美しい声の響きの中心となる。特に高音部の響きに深く関係している。
- 4 口腔による共鳴では、口先で音色を変化させることができ、響いた声が自分にもよく聴こえる。
- 5 頭声は、胸声よりも力強く、ある音の高さ以上になると音色が変わるのが特徴である。

(13) 尺八の説明として、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号は

- 1 基本は、一節（フレーズ）が終わるまで息を途中で切らず、同じ音が連続するときは舌（タンギング）を使う。
- 2 中継はウルシで摺合わせて作っている。ねじって着脱してはいけない。
- 3 標準は一尺八寸管で約54cmあり、八寸管と呼ばれている。
- 4 基準の高さはレ（D）である。
- 5 約1300年前、中国・唐より現在の尺八の原形となる六孔の楽器が伝わり、雅楽で用いられるようになったのがわが国での尺八の起源とされている。

(14) 文楽の用語について、適切でないものを1～5から一つ選べ。解答番号

- 1 見台 太夫が床で床本を置くために用いる台。
- 2 素浄瑠璃 人形なしで、太夫、三味線による義太夫節だけの演奏形式。
- 3 切場 文楽の演目の中で滑稽な場面をさす。
- 4 ツメ人形 家来、通行人など、その他大勢の役に使われる一人遣いの人形。
- 5 待ち合わせ 床の語りと舞台の人形との進行を調整するため、一時的に演奏を中断し、人形の動きを待って再び演奏を開始する演出法。

(15) 次の説明の空欄にあてはまる言葉として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

オクターブ間の音程を12等分の比で分割する という考え方は16世紀にすでに中国やヨーロッパで提案されていたが、20世紀になって電子楽器やMIDI規格の登場によって一気に普及した。

- 1 純正律 2 中全音律 3 ピタゴラス音律 4 ウェル・テンペラメント 5 平均律

4 「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第5節 音楽」に関する内容について、次の（1）～（3）の問いに答えよ。

（1）「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第5節 音楽 第1 目標」について、次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。解答番号は

第1 目標

（3）音楽活動の楽しさを体験することを通して、（），音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培う。

- 1 音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし
- 2 音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽文化についての理解を深め
- 3 音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽活動の基礎的な能力を伸ばし
- 4 音楽活動の基礎的な能力を伸ばすとともに、音楽文化についての理解を深め
- 5 音楽活動の基礎的な能力を伸ばすとともに、音楽に対する感性を豊かにし

（2）「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第5節 音楽 第2 各学年の目標及び内容」について、次のA～Dの問いに答えよ。

A 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕

1 目標

（3）主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組み、音楽活動の楽しさを体験することを通して、（）を養う。

- 1 多様な音楽のよさや美しさに触れ、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度
- 2 多様な音楽のよさや美しさに触れ、音楽に対する豊かな感性
- 3 音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する豊かな感性
- 4 音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにしていく態度
- 5 音楽文化に親しむとともに、音楽に対する豊かな感性

B 次に示す空欄（ア）、（イ）に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第2 各学年の目標及び内容〔第1学年〕

2 内容

A 表現

(2) 器楽の活動を通して、次の事項を身に付けることができるよう指導する。

ウ 次の(ア)及び(イ)の技能を身に付けること。

(ア) 創意工夫を生かした（ ア ）

(イ) 創意工夫を生かし、（ イ ）

- 1 ア 表現で演奏するために必要な奏法，楽器の使い方などの技能
イ 音のつながり方や各声部の音の重なりなどを聴きながら他者と合わせて演奏する技能
- 2 ア 表現を発揮するための基本的な奏法，身体の使い方などの技能
イ 音のつながり方や各声部の音の重なりなどを聴きながら他者と合わせて演奏する技能
- 3 ア 表現で演奏するために必要な奏法，身体の使い方などの技能
イ 全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能
- 4 ア 表現を発揮するための基本的な奏法，身体の使い方などの技能
イ 全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能
- 5 ア 表現で演奏するために必要な奏法，楽器の使い方などの技能
イ 全体の響きや各声部の音などを聴きながら他者と合わせて演奏する技能

(3)「中学校学習指導要領（平成29年3月告示）第2章 第5節 音楽 第3 指導計画の作成と内容の取扱い」について、以下のA～Cの問いに答えよ。

A 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(1) 各学年の「A表現」及び「B鑑賞」の指導に当たっては、次のとおり取り扱うこと。

ウ 知覚したことと感受したこととの関わりを基に音楽の特徴を捉えたり、
(ア), それらについて (イ) 際には、適宜、体を動かす活動も
取り入れるようにすること。

- 1 ア 音楽における働きを理解したり
イ 他者と共有, 共感したりする
- 2 ア その特徴を理解するとともに
イ 他者と共有, 共感したりする
- 3 ア 思考, 判断の過程や結果を表したり
イ 他者と共有, 共感したりする
- 4 ア 思考, 判断の過程や結果を表したり
イ 生徒が自己のイメージや思いを伝え合ったり, 他者の意図に共感したりする
- 5 ア 音楽における働きを理解したり
イ 生徒が自己のイメージや思いを伝え合ったり, 他者の意図に共感したりする

B 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(4) 歌唱及び器楽の指導における合わせて歌ったり演奏したりする表現形態では、
(), 生徒一人一人が、担当する声部の役割と全体の響きについて考え、主
体的に創意工夫できるよう指導を工夫すること。

- 1 楽曲にふさわしい表現の技能を身に付けるとともに
- 2 楽曲にふさわしい音楽表現を工夫するとともに
- 3 音楽文化に親しむとともに
- 4 他者と共に一つの音楽表現をつくる過程を大切にするとともに
- 5 他者の音楽表現に共感するとともに

C 次に示す空欄に当てはまる語句として、適切なものを1～5から一つ選べ。

解答番号は

第3 指導計画の作成と内容の取扱い

2 第2の内容の取扱いについては、次の事項に配慮するものとする。

(7) 各学年の「A表現」の(3)の創作の指導に当たっては、即興的に音を出しながら音のつながり方を試すなど、音を音楽へと構成していく体験を重視すること。その際、
(ア), 必要に応じて (イ)。

- 1 ア 理論に偏らないようにするとともに
イ 作品を記録する方法を工夫させること
- 2 ア 理論に偏らないようにするとともに
イ 録音機器を用いること
- 3 ア 理論を重視しながらも
イ 作品を記録する方法を工夫させること
- 4 ア 記譜の方法を重視しながらも
イ 録音機器を用いること
- 5 ア 理論を重視しながらも
イ 録音機器を用いること

